

第11回 事業報告書

(2022年1月1日から2022年12月31日まで)

I 事業活動

当期は、創立70周年、洋館竣工110年の節目の年でしたが、前期に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により、ある程度の制限を受けながら各事業に取り組みました。

公益目的事業として、ひとつは、講演会や交流会などを通じて地域の活性化や産業の振興・発展を目的とする「産業振興事業」であり、もうひとつは、重要文化財旧松本家住宅の公開によって、文化財への関心や文化財保護意識を高めることや、建物を文化活動の場として活用することによって文化の振興を目的とする「文化財活用事業」です。

あわせて、公益目的事業の推進や重要文化財建物の維持にその収益を充てるための「食堂運営事業」も行いました。

また、4月1日からは北九州市の指定管理者として、旧安川邸および夜宮公園駐車施設に関わる管理運営を行う「旧安川邸指定管理運営事業」を開始いたしました。

1 産業振興事業

(1) 講演会

経営・経済・政治・文化・社会問題等につき、有識者を招いての講演会を毎月予定していましたが、合計10回の開催に留まり、延べ333名程の参加となりました。

また、行政関係・友好諸団体主催の講演会共催ならびに後援を行い、交流の機会づくりを行いました。

当倶楽部が主催した講演会は、つぎのとおりです。

第1回 1月21日(金)

「岸田政権と日米中関係」

同志社大学法学部 教授 村田 晃嗣氏

第2回 4月13日(水)

「安川・松本財閥の誕生」

北九州市立自然史・歴史博物館 歴史課長・学芸員 日比野 利信氏

第3回 5月19日(木)

「中国経済の行方 ― 短期と中長期の見通し」

大阪経済大学経済学部 教授 福本 智之氏

第4回 7月28日(木)

「為替相場は占い師の域。ロシア・ウクライナ紛争がいつ終わるのか？

～需給の円安、インフレ懸念のドル高、年後半の米景気減速懸念のドル安～」

大和証券株式会社 金融市場調査部(兼投資情報部) 担当部長

チーフ為替ストラテジスト 今泉 光雄氏

- 第5回 8月25日(木)
「近代数寄者の茶の湯」
表千家家元教授 岡崎 英雄氏
- 第6回 9月28日(水)
「背伸びしない地域文化や資産の価値最大化で描くローカルの未来」
株式会社和多屋別荘 代表取締役 小原 嘉元氏
- 第7回 10月12日(水)
「財務局の業務について」
財務省 福岡財務支局長 渡邊 輝氏
- 第8回 11月30日(水)
「九州経済の新たなチャレンジに向けて」
経済産業省 九州経済産業局長 苗村 公嗣氏
- 第9回 12月14日(水)
「芸術は身近なもの」
前文化庁長官・東京藝術大学名誉教授 宮田 亮平氏
- 第10回 12月22日(木)
第1部：「我が国と北九州の経済情勢」
第2部：「新しい日本銀行券と中央銀行デジタル通貨」
日本銀行 北九州支店長 畠中 基博氏

その他共催・後援事業はつぎのとおりです。

- 1月18日(火)
「進む中国社会のデジタルトランスフォーメーションと日本への示唆
～スマートシティを手がかりに～」
富士通グローバルマーケティング部門 チーフデジタルエコノミスト 金 堅敏氏
- 2月 4日(金)
「アフターコロナの企業戦略
～九州地域の新たな挑戦：脱炭素ビジネスとデジタル化～」
(公財)九州経済調査協会 調査研究部次長 藤井 学氏
- 2月22日(火)
「日銀によるアジアの金融経済の安定化政策と北九州経済の課題」
日本銀行 北九州支店長 畠中 基博氏
- 9月29日(木)
「ウクライナ危機と食料の安全保障」
(公財)アジア成長研究所 特別教授 本間 正義氏
- 10月27日(木)
「ウクライナ危機後のエネルギー安全保障と再生可能エネルギーの役割」
京都大学大学院経済学研究科 再生可能エネルギー経済学講座 特任教授
日本風力エネルギー学会理事 安田 陽氏

10月28日(金)

「バイオテクノロジーと情報技術の融合による新しい産業の創生」

奈良先端科学技術大学院大学 理事・副学長 太田 淳氏

11月29日(火)

「ウクライナ戦争とEU・ドイツ」

東北大学 名誉教授 田中 素香氏

12月21日(水)

「中国人口高齢化の巨大市場と日中健康・介護産業協力の展望」

清華大学華商研究センター研究員、青島大学 客員教授 蔡 林海氏

(2) 交流会

① 特別講演会ならびに懇親会・交流会

恒例行事である賀詞交歓会、福岡県知事・北九州市長による特別講演会と交流会は新型コロナウイルス感染症拡大の影響によりすべて中止といたしましたが、春には会員懇親会と秋には創立70周年記念行事を行いました。

4月18日 春季懇親会

10月17日の創立記念日には、創立70周年記念式典ならびに神田 紅氏による記念講演『安川敬一郎物語』と祝賀会を開催いたしました。

② シンポジウムの会

参加者相互の交流をより深めることを目的とする、美食会を兼ねた“シンポジウムの会”を12月に開催いたしました。旬な食材を使った和洋折衷料理を楽しむとともに、倶楽部の現況報告を行いました。

③ 行政・経済団体等との交流

行政（九州経済産業局・福岡財務支局・北九州市各部局・教育委員会など）、友好諸団体（北九州商工会議所・（公財）北九州国際技術協力協会・（公財）北九州活性化協議会・（公社）北九州貿易協会、（公財）アジア成長研究所・（公財）北九州国際交流協会・福岡経済同友会など）と協力して、各種のシンポジウム・講演会・文化活動など、地域の発展と交流に努めました。

2 文化財活用事業

1912年（明治45年）に洋館が竣工し、1972年（昭和47年）に重要文化財に指定された「旧松本家住宅」の公開は、その建物の維持管理の観点から特別公開日のみとしています。今年度の特別公開は、11月3日に開催し、631名の入場者がありました。

なお、建築専門家および建築に関心のある団体や学校からの社会見学は、事前の予約を受けて個別に対応しています。また、婚礼や食事等での会館利用者に対しては、積極的に館内案内を行っており、重要文化財に直接触れることで文化財の意義・価値を認識するとともに、文化財保護意識を高めていただく機会となっています。

このほか行政や友好諸団体との文化交流では、茶道・華道・ダンス教室などに発表の場を提供し、文化向上に努めました。

3 食堂運営事業

まん延防止等重点措置期間が解除になった3月6日以降、一般会食は回復傾向で推移しましたが、収益の柱である婚礼は、件数は増加したものの平均単価の落ち込みが大きく前年を下回る結果となりました。

その結果、当事業の収入はコロナ関連給付金等の雑収入を含め 213,569 千円（前年比 2,449 千円増）、支出は 219,076 千円（前年比 21,913 千円増）となり、経常利益で 5,506 千円（昨年比 19,463 千円減）の経常赤字となりました。

4 旧安川邸指定管理運営事業

2022年4月1日から北九州市の指定管理者として、旧安川邸および夜宮公園駐車施設に関わる管理運営事業を開始いたしました。施設運営、維持管理を行うとともに、市民の憩いの場や市内外の観光客が訪れる新たな賑わい・観光拠点づくりのため、隣接する夜宮公園イベントとのコラボレーションや日本文化と非日常感の提供を目的に、能楽師を招いての座敷能や花展等、各種イベント開催による広報集客業務を行いました。また、「和」のおもてなしとくつろぎの空間の提供を目的とした飲食イベントや喫茶事業も行いました。

II 会務の概況

1 定時社員総会

2022年2月24日12時00分から当倶楽部で第10回定時社員総会を開催しました。

報告事項 第10期(2021年1月1日から2021年12月31日まで)事業報告の件

決議事項

第1号議案 第10期(2021年1月1日から2021年12月31日まで)貸借対照表

および正味財産増減計算書ならびに財産目録承認の件

本件は原案どおり承認可決されました。

第2号議案 理事20名選任の件

本件は原案どおり承認可決されました。

第3号議案 監事2名選任の件

本件は原案どおり承認可決されました。

2 理事会・委員会

2022年度中に開催された理事会・委員会はつぎのとおりです。

理事会	3回	監事会	1回	役員懇談会	4回		
経済調査委員会	1回	財務委員会	1回	総務委員会	2回	交流委員会	1回

3 会員の異動状況

会員種別	前年度末 現在会員数	本年度 入会者数	本年度 退会者数	本年度末 現在会員数	増減数
法人会員 (指名会員)	187社 (240人)	5社 (7人)	5社 (5人)	187社 (242人)	0社 (+2人)
個人会員	8人	0人	1人	7人	-1人
客員	6人	0人	0人	6人	0人

4 役員の状況(2023年2月27日現在)

理事長(代表理事)	小笠原 浩
副理事長	野見山裕治
	同 江川和宏
	同 喜多村 円
常任理事	若松正樹
理事	入江伸一郎
	同 影山英雄
	同 岡野正敏
	同 山本郁也
	同 宮崎幸雄
	同 青木輝英
	同 内山一仁
	同 自見榮祐
	同 朝倉正司
	同 安田堅太郎
	同 富山 隆
	同 芳賀晟壽
	同 溝田浩敏
	同 山本和男
監事	中山岳志
	同 藤野啓介
	同 久保山雅彦